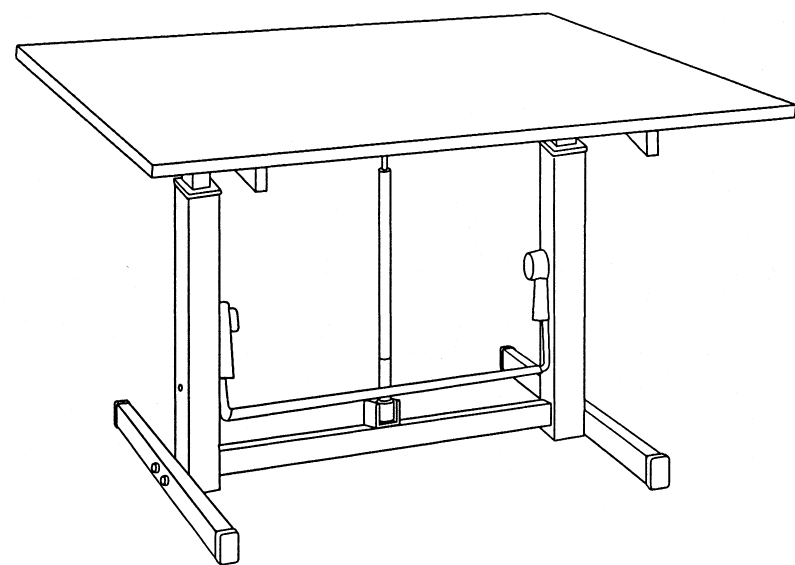


昇 降 作 業 台

ガスバネ式 [GUD]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101

No.157 22J-3

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

- 天板の等分布耐荷重（天板全面に均等に物を置いた場合）は、

	停止時均等耐荷重	積載時昇降最大荷重
ガスバネ式	GUD-096 □ } GUD-127 □ }	100kg 10kg

積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因となります。
- 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだままで使用しますと、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
- 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
- この製品を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。
- 本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
- この製品を移動するときは、載せてある物を全ておろし昇降を停止させ、ストッパーレバーでロックさせてから天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
- 使用時は必ずストッパーレバーでロックさせて下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- 天板は、比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。
- 消耗部品には寿命があります。可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
- アジャスターは床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

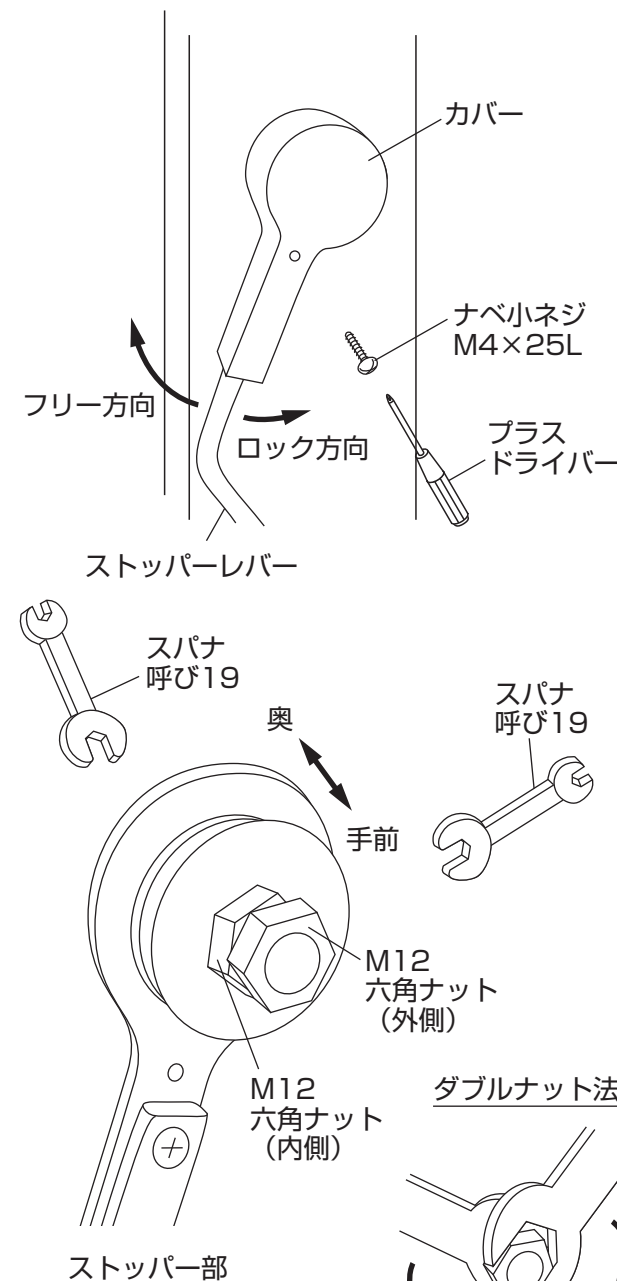
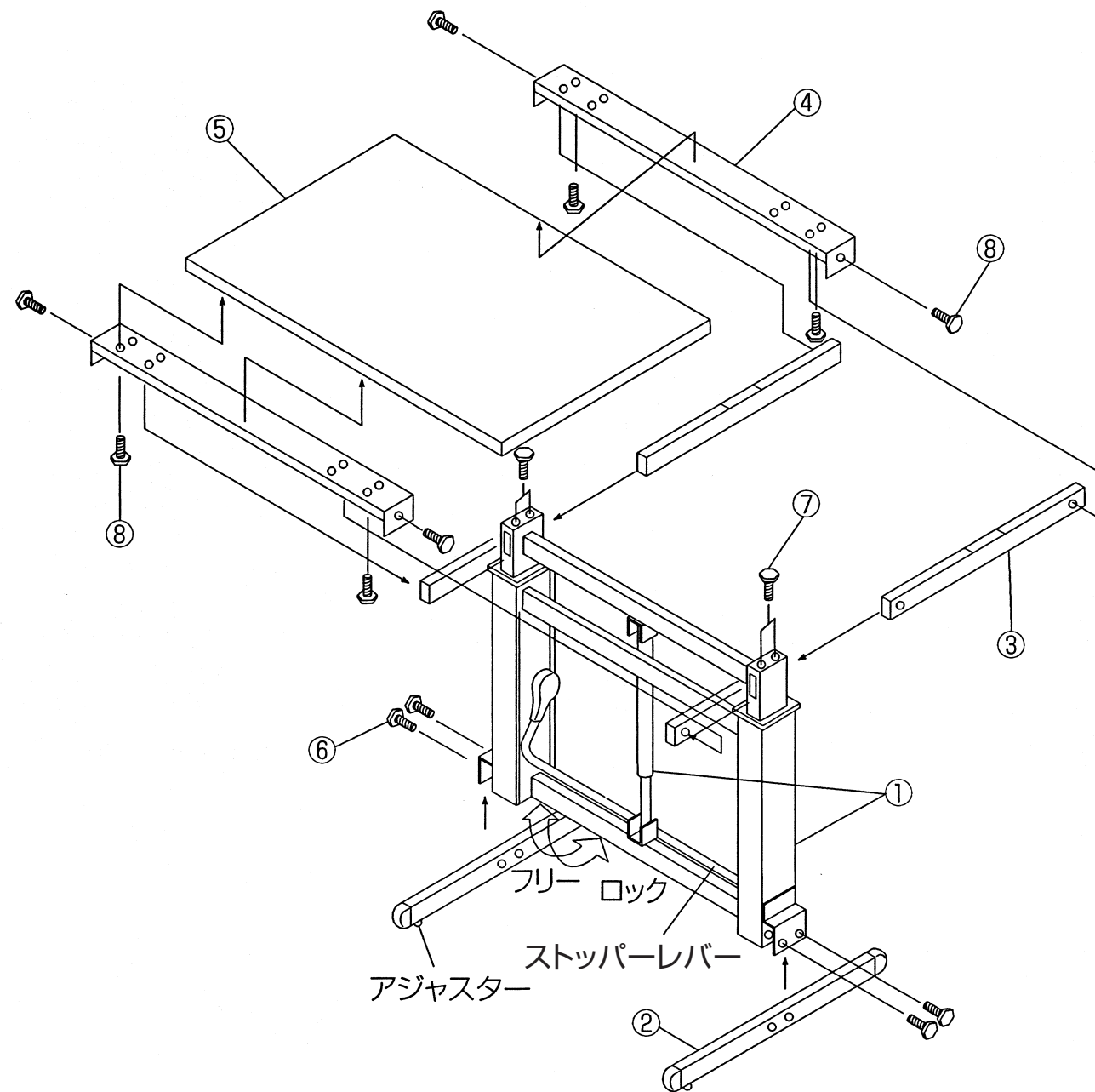
- 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
- 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
- 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

組立方法

〈ストッパー部調整方法〉(ストッパーの効きが悪い。スムーズに天板の昇降が出来ない) (用意する工具) ・プラスドライバー1本 ・スパナ(呼び19)2個



〈組立方法〉

- 支柱セット①に脚フレーム②を差し込み、六角ボルト⑥で締め付け固定して下さい。
- 支柱セット①に天受フレーム③を差し込み、2本の筋目が上面両側から見える所に位置決めし、ナベ小ネジ⑦で天受フレーム③が動かなくなる程度まで締め付けて下さい。
- 天受ビーム④を天受フレーム③の上面からはめ込み、ネジ穴を合わせ、六角ボルト⑧で固定して下さい。
- 天板⑤を天受ビーム④上面に載せ、穴位置を合わせ、六角ボルト⑧で締め付けて下さい。
- 床との間にガタツキがある場合は、アジャスターで調整して下さい。

《操作方法》

- ストッパーレバーをフリー方向に引き、天板を水平に引き上げて下さい。
(又は押し下げて下さい。)
- 任意の位置でストッパーレバーを踏み込み、ロックして下さい。
※再度、高さ調整をされる場合は、ストッパーレバーをフリー方向に引き、①②の操作を繰り返して下さい。

- プラスドライバーにてカバー中心部のナベ小ネジ(M4×25L)を緩めてカバーと共に外します。(対面側も同様に外します。)
- ストッパーレバーをフリー方向に引き、ストッパー部のM12六角ナットをスパナ(呼び19)2個にて内側を固定し、外側を緩めます。その後内側を緩めます。(対面側も同様に緩めます。)
- ストッパーレバーをロック方向へ踏み込みます。
- ②にて緩めたM12六角ナット(内側)をスパナにて奥まで締め付けます。(対面側も同様に締め付けます。)
- ストッパーレバーの効きを下記の通りに確認します。
(調整時、M12六角ナット(内側)が緩んだ場合は再度③④を実施して下さい。)
A.ストッパーレバーをフリー方向に引いて、スムーズに天板が昇降するか
B.ストッパーレバーをロック方向に踏み込み、高さが固定されているか
- ②にて緩めたM12六角ナット(外側)をスパナにて奥まで締め付けた後、そのままナットを抑えながらM12六角ナット(内側)をもう1個のスパナにて手前へ締め付けます。(ダブルナット法による緩み止め。M12六角ナット(内側)の位置は殆ど変わりません。)
- ⑥にて締め付けしたナットが緩まない事を確認した後、対面側も同様に⑥を行い、緩まない事を確認後、昇降確認して下さい。(⑤のA-B参照。)
- ①にて外したカバーをはめ込み、プラスドライバーにて、ナベ小ネジを締め付けます。(対面側も同様に取付します。)

部 品 明 細

番 号	品 名	数 量
①	支柱セット(ガスバネ付)	1
②	脚フレーム	2
③	天受フレーム	2
④	天受ビーム	2
⑤	天板	1
⑥	六角ボルト(M8×45ℓ)	4
⑦	ナベ小ネジ(M8×20ℓ)	4
⑧	六角ボルト(M8×18ℓ)	8